

平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 8 日

上場会社名 株式会社エイティング 上場取引所 東
 コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 知徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津村 正幸 (TEL) 03(5753)8178
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|------------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23 年 9 月期第 3 四半期 | 1,800 | 30.0 | 331 | 556.9 | 329 | 433.5 | 169 | 538.1 |
| 22 年 9 月期第 3 四半期 | 1,384 | 14.9 | 50 | △79.5 | 61 | △73.5 | 26 | △80.2 |

| | 1 株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益 |
|------------------|------------------|-------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23 年 9 月期第 3 四半期 | 3,225.91 | 3,212.47 |
| 22 年 9 月期第 3 四半期 | 498.47 | 496.05 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1 株当たり純資産 |
|------------------|-------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23 年 9 月期第 3 四半期 | 2,143 | 1,687 | 78.8 | 32,454.26 |
| 22 年 9 月期 | 1,758 | 1,648 | 93.8 | 30,877.04 |

(参考) 自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 1,687 百万円 22 年 9 月期 1,648 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22 年 9 月期 | - | 0.00 | - | 1,000.00 | 1,000.00 |
| 23 年 9 月期 | - | 0.00 | - | | |
| 23 年 9 月期(予想) | | | | 1,000.00 | 1,000.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 無

3. 平成 23 年 9 月期の連結業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 2,018 | 24.2 | 143 | 154.6 | 143 | 107.8 | 62 | 113.4 | 1,138.16 |

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 23年9月期3Q | 55,238株 | 22年9月期 | 54,993株 |
| 23年9月期3Q | 3,230株 | 22年9月期 | 1,599株 |
| 23年9月期3Q | 52,547株 | 22年9月期3Q | 53,294株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 1 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 2 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 2 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 2 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (5) セグメント情報 | 7 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (7) その他注記情報 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、このところ輸出等で上向きの動きが見られております。

当社グループが属する家庭用ゲームソフト業界におきましては、ソニー・コンピュータエンタテインメントより「PlayStation Vita」、任天堂より「Wii U」の発売が発表されるなど、今後新たなゲーム市場の拡大が期待されております。

また、携帯電話会社各社より新たなスマートフォンが発売され、従来のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が、企業・消費者共に、より鮮明となった期間でもありました。

このような環境の中、5月16日に発表しました「組織変更および人事異動のお知らせ」に記載のとおり、デザイン部門を独立させた「デザイン制作部」を新設し、社外協力企業も含めた開発体制の適正管理をより一層強化しております。

なお、第1四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これにより、新たに「ネットワークコンテンツ開発事業」を報告セグメントとしております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報 セグメント情報」をご覧ください。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、PS3・XBOX360・3DSに向け複数タイトルの開発を進めてまいりました。工事進行基準のもと、当第3四半期連結会計期間においても大型タイトルの開発を行ったことにより、前年同四半期に比べ売上高、営業利益ともに大きく伸ばすことができました。

以上の結果、ゲームソフト開発事業における売上高は1,682,721千円（前年同四半期は売上高1,294,442千円）、営業利益は616,708千円（前年同四半期は営業利益306,628千円）となりました。

② モバイルコンテンツ開発事業

モバイルコンテンツ開発事業におきましては、今後iPhone・Android端末等のスマートフォンの急激な普及が見込まれることもあり、SNSコンテンツの今後の急激な需要の拡大に対応すべく、引き続き当該開発体制の構築に努めております。

当第2四半期連結会計期間から受託開発を開始し、複数の案件を受託したことにより前期比で増収となりました。しかしながら、受託開発の初期段階ということもあり、営業費用が売上高を大きく上回った結果、前期比で減益となりました。

以上の結果、モバイルコンテンツ開発事業における売上高は117,292千円（前年同四半期は売上高88,451千円）、営業損失は22,864千円（前年同四半期は営業利益11,450千円）となりました。

③ ネットワークコンテンツ開発事業

ネットワークコンテンツ開発事業におきましては、メインであるオンラインゲーム事業の開発スケジュールの変更により運営開始時期を見直しております。これに伴い、売上計上時期が遅れることとなりました。

以上の結果、ネットワークコンテンツ開発事業における売上高は96千円、営業損失は9,440千円となりました。

④ その他事業

その他事業における売上高は54千円（前年同四半期は売上高1,628千円）、営業利益は39千円（前年同四半期は営業利益1,477千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

資産

資産合計は、前期末に比べ384,950千円増加し、2,143,139千円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加額164,978千円、コンテンツ制作に係るコンテンツ仮勘定の増加額145,456千円であり、主な減少要因は、コンテンツの完成によるコンテンツ仕掛品の減少額41,852千円及び仕掛品の減少額20,236千円であります。

負債

負債合計は、前期末に比べ345,718千円増加し、455,257千円となりました。主な増加要因は、未払法人税等の増加額136,970千円、支払手形及び買掛金の増加額38,042千円であります。

純資産

純資産合計は、前期末に比べ39,232千円増加し、1,687,881千円となりました。増加要因は、四半期純利益に係る利益剰余金の増加額116,118千円であり、減少要因は、自己株式の増加額82,962千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ164,978千円増加し、1,116,076千円となりました。

また、当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、470,023千円（前年同四半期は160,935千円の支出）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益323,125千円、賞与引当金の増加額64,483千円等であり、主な減少要因は、売上債権の増加額131,644千円、法人税等の支払額21,897千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、241,112千円（前年同四半期は118,397千円の支出）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出223,807千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、63,932千円（前年同四半期は69,444千円の支出）となりました。増加要因は長期借入れによる収入70,000千円であり、減少要因は自己株式の取得による支出86,532千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、「3. 平成23年9月期の連結業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）」に記載の業績数値となっており、平成23年4月12日に公表した連結業績予想から変更ありません。

当第3四半期の連結業績が連結業績予想を上回っておりますが、東日本大震災以降、復興に向けた経済活動が活発になりつつある一方、当社グループが対象とするゲームソフト市場においては、市場の回復の動きが弱く当第4四半期以降の受注や売上の見通しが不透明なものとなっております。したがって、現時点での業績予想の修正は行っておりません。なお、開示すべき事象が発生した場合は速やかに開示いたします。

（注）業績予想の分析・検討内容は、本書提出日現在において当社の財務諸表及び経営環境に基づき判断したものであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は394千円、税金等調整前四半期純利益は2,088円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は4,328千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日) |
|-----------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,116,076 | 951,098 |
| 受取手形及び売掛金 | 353,183 | 226,051 |
| 仕掛品 | 1,738 | 21,974 |
| コンテンツ仕掛品 | — | 41,852 |
| 繰延税金資産 | 616 | 1,315 |
| その他 | 42,419 | 89,439 |
| 流動資産合計 | 1,514,033 | 1,331,732 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 53,317 | 46,658 |
| 無形固定資産 | | |
| コンテンツ仮勘定 | 333,632 | 188,176 |
| その他 | 129,201 | 80,898 |
| 無形固定資産合計 | 462,834 | 269,074 |
| 投資その他の資産 | 112,953 | 110,722 |
| 固定資産合計 | 629,105 | 426,455 |
| 資産合計 | 2,143,139 | 1,758,188 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 43,078 | 5,035 |
| 未払法人税等 | 143,149 | 6,178 |
| 前受金 | 15,042 | 10,532 |
| 賞与引当金 | 64,483 | — |
| その他 | 129,220 | 87,792 |
| 流動負債合計 | 394,973 | 109,539 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 55,920 | — |
| 資産除去債務 | 4,364 | — |
| 固定負債合計 | 60,284 | — |
| 負債合計 | 455,257 | 109,539 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 210,351 | 207,313 |
| 資本剰余金 | 271,601 | 268,563 |
| 利益剰余金 | 1,397,942 | 1,281,824 |
| 自己株式 | △192,013 | △109,051 |
| 株主資本合計 | 1,687,881 | 1,648,649 |
| 純資産合計 | 1,687,881 | 1,648,649 |
| 負債純資産合計 | 2,143,139 | 1,758,188 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 1,384,521 | 1,800,165 |
| 売上原価 | 930,528 | 1,096,897 |
| 売上総利益 | 453,993 | 703,268 |
| 販売費及び一般管理費 | 403,516 | 371,694 |
| 営業利益 | 50,477 | 331,574 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 11 |
| 受取配当金 | 86 | — |
| 保険解約返戻金 | 10,728 | — |
| 還付加算金 | — | 1,667 |
| その他 | 730 | 659 |
| 営業外収益合計 | 11,555 | 2,337 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 575 |
| 自己株式取得手数料 | — | 3,570 |
| 投資事業組合運用損 | 296 | — |
| その他 | — | 434 |
| 営業外費用合計 | 296 | 4,579 |
| 経常利益 | 61,735 | 329,331 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 8,730 | — |
| 開発中止損失 | — | 4,512 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 1,694 |
| 特別損失合計 | 8,730 | 6,206 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 53,005 | 323,125 |
| 法人税等 | 26,439 | 153,612 |
| 四半期純利益 | 26,565 | 169,512 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 53,005 | 323,125 |
| 減価償却費 | 17,179 | 36,198 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 45,169 | 64,483 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △11 |
| 支払利息 | — | 575 |
| 保険解約返戻金 | △10,728 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 1,694 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | 8,730 | — |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 296 | 71 |
| 開発中止損失 | — | 4,512 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △145,108 | △131,644 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 260,002 | 62,089 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △18,923 | 38,042 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △295,986 | 4,509 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 5,808 | △10,283 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | — | 10,006 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 15,726 | 24,684 |
| その他 | △10,510 | 19,746 |
| 小計 | △75,434 | 447,800 |
| 利息及び配当金の受取額 | 95 | 11 |
| 利息の支払額 | — | △575 |
| 法人税等の支払額 | △85,597 | △21,897 |
| 法人税等の還付額 | — | 44,684 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △160,935 | 470,023 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △7,820 | △15,869 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △149,307 | △223,807 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 16,270 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | 22,335 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △1,829 |
| その他 | 126 | 394 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △118,397 | △241,112 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 6,076 |
| 長期借入れによる収入 | — | 70,000 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △86,532 |
| 配当金の支払額 | △69,444 | △53,476 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △69,444 | △63,932 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △348,777 | 164,978 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,411,115 | 951,098 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,062,337 | 1,116,076 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

ゲームソフト開発事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会及び経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゲームソフト開発事業」及び「モバイルコンテンツ開発事業」並びに「ネットワークコンテンツ開発事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ゲームソフト開発事業」は、家庭用ゲームソフト及びアミューズメント施設向けゲームソフトの企画・開発をしております。「モバイルコンテンツ開発事業」は、携帯電話向けデジタルコンテンツの企画・開発・配信をしております。「ネットワークコンテンツ開発事業」は、オンラインコンテンツの企画・開発・運営をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年6月30日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|----------------|-----------------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|
| | ゲームソフト 開発事業 | モバイル コンテンツ 開発事業 | ネットワーク コンテンツ 開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,682,721 | 117,292 | 96 | 1,800,110 | 54 | 1,800,165 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,682,721 | 117,292 | 96 | 1,800,110 | 54 | 1,800,165 |
| セグメント利益又は損失(△) | 616,708 | △22,864 | △9,440 | 584,403 | 39 | 584,442 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルキャラクターの企画製作及び特許開発等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 584,403 |
| 「その他」の区分の利益 | 39 |
| 全社費用(注) | △252,868 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 331,574 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期において、平成22年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,631株を取得いたしました。この結果、当第3四半期末において、自己株式が82,962千円増加し、192,013千円となっております。

(7) その他注記情報

該当事項はありません。